

130122 翡翠(カワセミ)

「**翡翠**」と書いて「**カワセミ**」と読みます。

また、同じく「**翡翠**」と書いて「**ヒスイ**」と読めば、深緑色で半透明な**宝石**を指すことになります。

中国やインカ帝国などでは、古くから人気の高い宝石として珍重されたようですね。

中国では、元々「**翡翠**」とは「**カワセミ**」を指す言葉だったのですが、やがて宝石の玉も指すようになったとされています。

特に「**ヒスイ**」の中でも、白地に緑色と緋色が混ざる石はとりわけ美しく、「**カワセミ**」の羽の色に例えられ「**翡翠玉**」と名づけられた、という説もあるようです。

ちなみに、古代日本では玉は「**たま**」、カワセミは「**しょうびん**」と呼ばれていましたので、「**翡翠(カワセミ)**」の語は、比較的新しい時代に中国から入ってきたものと推察されますね。

【**翡翠(カワセミ)**】

頭が大きくて、嘴は長くて黒色。

腹部はオレンジ色で、頭から背中が光沢のある青色。

喉(のど)、うなじは白色で、目の後ろがオレンジ色。

足は赤色。

以上が、カワセミの**雄**の特徴として図鑑などに記載されていますが、今回の写真を見ていただければ...

図鑑に書かれているとおりですね！

ちなみに**雌**も一見、**雄**と変わらないようですが、嘴の下側がオレンジ色っぽく見えるところで見分けることができます。





